



盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和5年6月30日
盛岡市保健所
指導予防課

市政記者クラブ加盟社 各位

ヘルパンギーナの集団発生について

次の施設において、「ヘルパンギーナ」の集団発生事例（1件）がありましたのでお知らせします。

1 盛岡市内の教育・保育施設（利用者・職員 100名以上）

(1) 患者の状況等

ア 6月26日（月）に施設から、複数の園児に発熱等の症状があり、発熱者の数名がヘルパンギーナと診断されたとの報告があった。

イ 保健所が調査を実施し、6月20日（火）から6月26日（月）までに28名（利用者28名）に発熱、咳等の症状があったことを確認した。

ウ 有症者は回復または回復傾向。

(2) 原因究明の調査等

ア 保健所において感染経路等を調査したところ、有症状者の空間分離が不十分であったことが要因であると推察された。保健所では施設に対し、可能な限りの異年齢児の交流制限と手洗いの徹底等、二次感染予防対策について指導を行った。

2 保健所からのお願い

盛岡市内におけるヘルパンギーナの定点医療機関当たりの報告数は、2023年第25週（6月19日から6月25日まで）は0.29人ですが、岩手県における定点当たりの報告数は、奥州地区で報告数が定点あたり患者数17.50人と警報値（定点あたり患者数6人）を大幅に超えており、今後市内の流行についても注意が必要です。

(1) ヘルパンギーナとは

ヘルパンギーナとはコクサッキーウイルス・エンテロウイルスが主な原因の感染症で、乳幼児に多くみられる夏かぜの代表的な病気です。

(2) 感染経路について

主に接触感染と飛沫感染ですが、糞便にもウイルスが存在するため、手指を介して経口感染も起こります。

(3) 症状について

2～4日の潜伏期間の後、突然38度以上の発熱、続けて口腔内に水泡が出現します。2～4日で解熱し7日程度で治まりますが、まれに発熱に伴う熱性けいれんや髄膜炎、心筋炎が生じることがあります。また、症状がなくなった後も、3～4週間は便にウイルスが排出されます。

(4) 予防方法

- ・咳やくしゃみをする時には、口と鼻をおおう等の咳エチケットを心がける。
- ・症状消失後も、便中にウイルスが含まれている可能性があるため、トイレやオムツ交換の後、調理前、食事前には石けんと流水で十分な手洗いを行う。
- ・集団生活ではタオルの共有を避ける。
- ・症状がある場合には、早めに医療機関を受診し、登園等を可能な限り控える。

【担当：指導予防課長 山崎 剛 電話：019-603-8244】